[GreenPepper PRO] Tutorials

「サーバー設定」の画面で、サーバー機能、アドレスなどを指定します。 ディアから、直接"qpset4.exe"をダブルクリックして、 3 ここでは、物理的に分離されたネットワークでの運用を想定し、設定例 プログラムを起動します。 を示します。 • "gpdata.pac", "gpdatahost.pac"が、同じフォルダ 「IPアドレス」「サブネットマス X に必要です。 サーバー設定 クレは必須です。 ・ "qpdatahost.pac"はオプション製品です。通常製品 サーバーPCネットワーク設定 「ゲートウェイ」「ネームサー パッケージに付属しているものは「評価版」です。 IPアドレス 192.168.100.5 バーレは必要に応じて指定。 サブネットマスク 255.255.255.0 . 1.0 -ゲートウェイ 0.0.0.0 「ネットワークブート(PXE)」を ネームサーバー 0.0.0.0 64bit boot manual other pdata.pag 8 有効にします。 □NTPクライアント有効 ネットワークブートを機能させる NTPサーバー名 gpdatahost *IPv4/サーバー名 gpdata.pac gpdata.pac appro4 gpset4 aputil4 .net .nonet タイムゾーン にはDHCPサーバーの設定・実行 \sim 「ネットブート」タブ(ページ)を使用します。 が必要です。 2 サーバーでの実行サービス 「設定するUSBメモリドライブ」を選択するか、「作 配布IPアドレスの範囲、サブネッ ネットワークブート(PXE) 成するネットブート用CD-ROMイメージファイル | を トマスクの指定は必須です。 DHCPサーバー設定 IPアドレス配布 192,168,100,10 範囲 指定してください。また「詳細設定」をクリックして ※ネットワークブート 192 . 168 . 100 . 199 配布アドレスは、ホストのIPアド に必要 サブネットマスク 255,255,255,0 詳細情報を設定します。 レズと同一ネットワークにする必 ゲートウェイ 0.0.0.0 要があります。 ピーマンPRO X ネームサーバー 0.0.0.0 ✓ FTPサーバー ※消去ログ書き込みに使用 Green Pepper PRO 接続ユーザーID 消去ログを、このホストPCに保存 ftpuser 7117/ Version 起動環境作成ツール パスワード するためには「FTPサーバー」を PW HDD組込 CDイメージ作成 USBメモリ設定 WinPEファイル ネットフィート シータファイル 有効にする必要があります。FTP ■ NTPサーバー 処理選 サーバーにログインする「接続 タイムゾーン GMT+9 V -作成するネットブート用CD-ROMイメージファイル ユーザーID|「パスワード」を指 汳 参照 \bigcirc 閉じる 定します。 設定するUSBメモリドライブ 詳細設定 (USBデバイスを選択) CDイメージファイルを指定する場合 「NTPサーバー」は、クライアン USBデバイスを選択) (3)BUFFALOClipDrive(126MB) トPCの時刻を、サーバーPCと同 作成するネットブート用CD-ROMイメージファイル 作成/設定実行 gpdatahost.pac ver. 4.7.5 書込 期させる機能を提供します。 c:¥Temp¥cd.iso タイムゾーンも設定します。 設定するUSBメモリドライブ 土地宁/白釉生纪 よ白力の オプミット (USBデバイスを選択) \sim 評価版の場合 gpdatahost.pac ver. 4.7.5 評価版 書

[4]

下部の「消去プログラム設定」は、ネットワークブートホストからダウンロードされ、実行される消去プログラムに関する設定に なります。ここでは推奨設定の例を示します。

 	「パスワード指定自動実行」が選択されています。クライアントPCはネットワークブート ワード入力画面が表示され、パスワードとして"1234"を入力すると、自動的に消去が始ま	した直後、パス る設定となります。
HDD組込 CDイメージ作成 USBメビリ設定 WinPEファイル ネットプート データファイル 処理 作成するネットブート用CD-ROMイメージファイル	方式指定自動実行 ネットワーク オブション 追加オブション	追加オプション
提示 c:\TempYcd.iso 参照 設定するUSBメモリドライブ (USBデッドイスを選択) 単細設定	 月 古 プ 「 通常メニュー選択形式 □ メニュー時初期値指定(*項目) メニュー時初期値指定(*項目) 基本設定 SSD設定 基本設定 SSD設定	り り り り り り り り り り り り り り り り り り り
gpdatahost.pac wer. 4.7.5 書込 作成/說定実行	う 」 う 」 ○ 消去方式の指定 [1回] (00) ■ SSD設定有効	- 0.0.0.0
方式指定(自動実行 ネットワーク オブション 追加オブション 済 済 子 了 」 通常メニュー選択形式 ストニュー特切期億指定("項目) 夏	定 ●パスワード指定自動実行 ✓ 読込検証(*) [4回: AA-55-7ン/5/Δ-00) ∨ パスワード→ 1234 □ エラー時中断(*) ✓ 読込検証(*) フルオート実行 □ ログ(FD, USBメモリ)(*) セキュア消去有効時の処理 (たまって) (たまって) (たまって)	無線LAN設定 (名前) in/名前(1)ずれかー方を入力
う 消去方式の指定 [1回] (00) /> ジパスワード指定自動実行 話込後証(*) パスワードホ 1234 □ ゴラー時中断(*) フルオート実行 □ ぴ(FD, JSB,FU)(*)	 □ D⁰(HDD)(オ) ○ D⁰(オットワーク)(*) セキャパ治去有効時の処理 □ 日本の指定に満た数 	руны (1051 м) (2003) руни 7-К •••• РШ
 □ ググ(ヘシ)(*) ○ ログ(ペットワーク)(*) セキュア消失者気が身の処理 [セキュア/回](sec=00) ∨ ■ 読込検証(*) 	[世キュア2回] (sec-00) ■ 読込検証(*) □ 0 万+1 ル名接頭群 (なし ■ でやりライアント有効 NTPサーバー 192,168,100.5	◇ →固定10 タイムゾーン GMT+9 ◇
	NTPによるネットワークブート	ホストとの時刻同
ログをネットワークブートホ ・「ログ(ネットワーク)」(・「ログの書き込みにネット)	ストに書き込む設定: 「IPアドレス」 期を有効にする: のチェック はDHCP ・「ログの書き込みにネットワー	-クを使用する」の
 「 接続サーバー」にホスト(「 接続方法」は"FTP" 「 認証ID」 「 パスワード 」 	テェック のアドレス(192.168.100.5)を指定 ・「NTPクライアント有効」にチ ・「NTPサーバー」にホストのIf はホストの「サーバー」設定で指定したもの (192.168.100.5)を指定	ーエック マドレス
	・「タイムゾーン」を指定	
5 「作成/設定実行」をクリッ メモリの設定、CDイメージ 作成を行います。	yクし、USB ジファイルの	マウント ディスクイメージの書き込み メモ帳で編集 お気に入りに追加(F)

[GreenPepper PRO] Tutorials

PCをネットワークブートホストとして起動

作成したCD/USBメモリをPCに挿入し起動します。起動が成功すると、右のメ 7 ニュー画面が表示されます。 ・USBメモリで起動する場合、ディスクレス、あるいは、内部のディスクを使 用しないで実行・運用が可能です。 ・ CDでの起動の場合、FTPサーバーでのログ保存を必要としない場合、または、 テスト運用の場合、ディスクレスが可能です。 ログ保管が必要な実運用時は、 ディスクドライブ(内蔵、USB接続等)が必要になります。 Hyper-V など、仮想環境での実行も可能です。 USBメモリ起動 メニュー画面で矢印キーで「ホスト設定状況」を選び、[enter]キーを押します。 右の画面の、赤い下線部分が[Enabled] [Running] < OK>の表示になっていれば 問題なく動作し、準備完了です。アドレス等は設定により異なります。

8a

8b

CD起動

CDは書き込みができないため、ストーレッジについて考慮する必要があります。 FTPサーバーを使用した消去ログの保管をしないのであれば、上記と同様「ホス ト設定状況」を確認し、"Network Boot: Enabled"になっていれば、これ以上 の設定は不要です。







初期状態では、ストーレッジはRAM (memory)に割り当てられており、FTPサーバーで処理 された消去ログはRAMに保管されます。

RAM内のデータは電源OFF時に消えてしまいます。テスト使用の場合はそのままで構いませ んが、実運用時は、以下の手順でHDD/SSDなどにストーレッジを割り当てる必要があります。 メニューで「ストーレッジ設定」を選び[enter]。左の画面が表示されます。 "---割り当てるディスクを選択---"に表示されているデバイスから一つを選び、[tab]キーで

「割り当て」または「消去/初期化」に進み、[enter]で実行。

[割り当て]: デバイスの最初のパーティションがFAT32/EXT2でフォーマットされている場 合、そのパーティションをストーレッジとして割り当てます。パーティションの内容は消去 されずそのまま使用されます。[RAM]への割り当てはこちらを使用してください。

[消去/初期化]: デバイス全体が消去され、FAT32またはEXT2でフォーマット(初期化)さ れます。注意して実行してください。フォーマットタイプは、USBドライブなどWindowsか らも使用する場合、FAT32の方が便利です。

メニューに戻り、上記USBメモリ起動の場合と同様「ホスト設定状況」を確認し問題なく動 作していれば準備完了です。[Storage Status]には割り当てられたデバイスが表示されます。

[GreenPepper PRO] Tutorials



ネットワークブートホストと、消去するPCをイーサーネットで接続します。 * 一部PCでは、WiFi(HPなど)、USB-Ether(Dellなど)によるネットワークブートが可 能です。

ネットワークは、既存のネットワークとは物理的に分離して運用することをお勧めします。

* ネットワークブートホストではDHCPサーバーが稼働しているため、既存のネット ワークに影響を及ぼします。

* 意図せず、日常使用のPCを消去してしまうことを防ぎます。

10

9

消去するPCの電源を入れ、ネットワークブートさせます。成功すると「ピーマン PRO」の消去プログラムがダウンロードされ、起動します。

PCをネットワークブートするには・・・

・PCは、ネットワークブート(PXE IPv4)をサポートしている必要があります。 Legacy(BIOS) PXE、UEFI PXE どちらも可能です。

・Windowsがまだ動作する場合は、[SHIFT]を押しながら[再起動]選択することで、 起動デバイスの選択メニュー、UEFIの設定画面の表示が可能です。

・ PCの電源ON直後に、F12キー,F9キー(HP),あるいは他のキーで、起動デバイスを 選択する起動メニューが表示される場合は、そこでPXEブートを選びます。

・ PCのBIOS(UEFI)設定で、PXEブートの起動優先順位を、上位にする必要がある場合があります。

・ PCのBIOS(UEFI)設定で、"Secure Boot"を無効(Disable)にする必要がある場合が あります。

11

起動後の操作は、通常の消去プログラム操作と全く同じです。

• NTPクライアントを有効にした場合、起動時、ネットワークブートホストと時刻同時されます。

•ネットワークログを有効にし、ログの書き込み先をネットワークブートホストにした場合、消去ログはネットワークブートホストに書き込まれます。消去ログは集中的にホストで管理される状態を作ることが出来ます。



起動画面(UEFI PXE起動時)



起動画面(Legacy/BIOS PXE起動時)

Green Pepper Ver4.7.5. (\$105) Wait 5sec to boot, or type other option. (default)gor(ENTER). (FlatMain)(FS-Show all options)